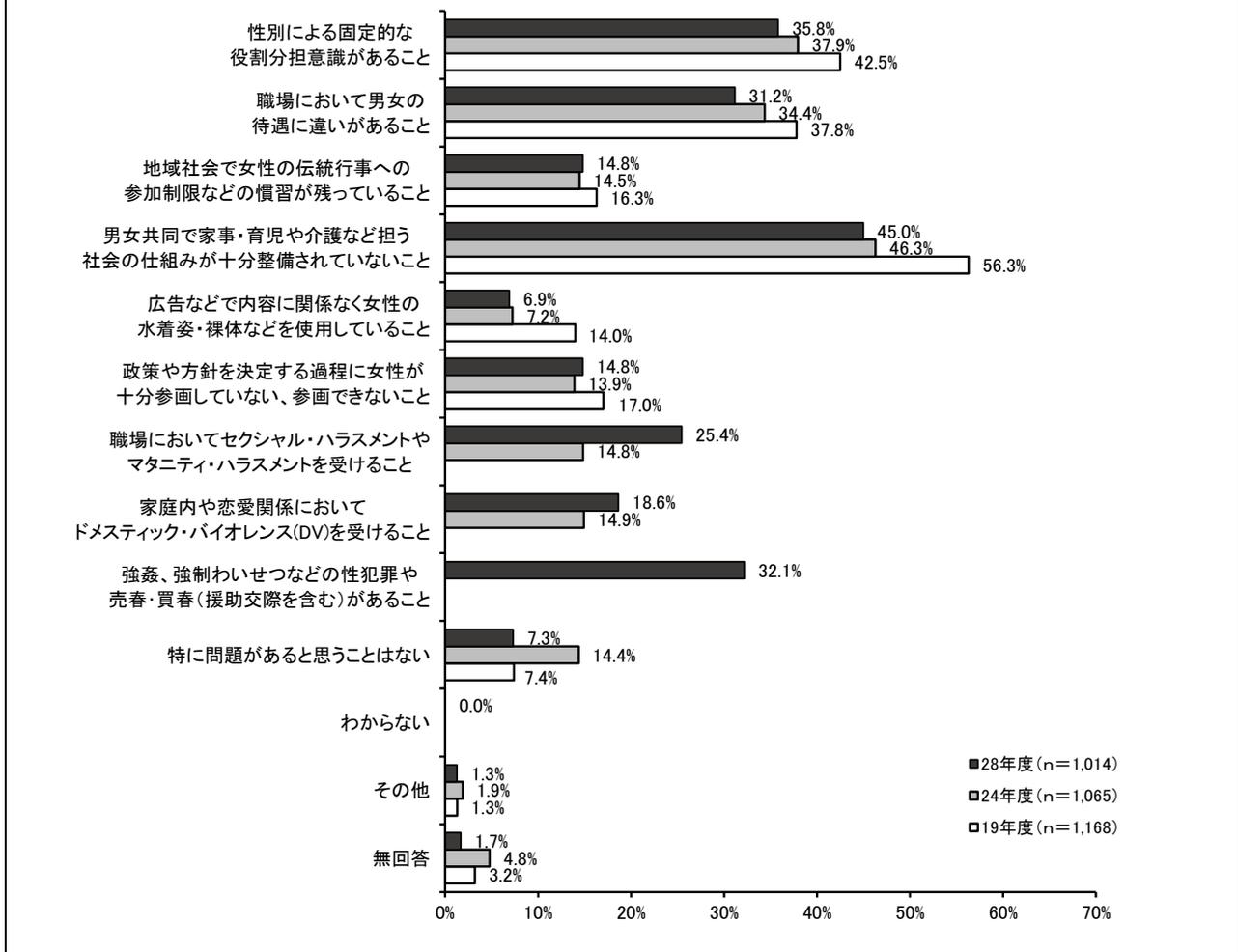


## 3-2 女性の人権について

### (1) 女性の人権問題で、特に問題があると思うこと

問6 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。



■「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」が45.0%で最も高く、次いで「性別による固定的な役割分担意識があること」が35.8%、「強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)があること」が32.1%の順となっている。

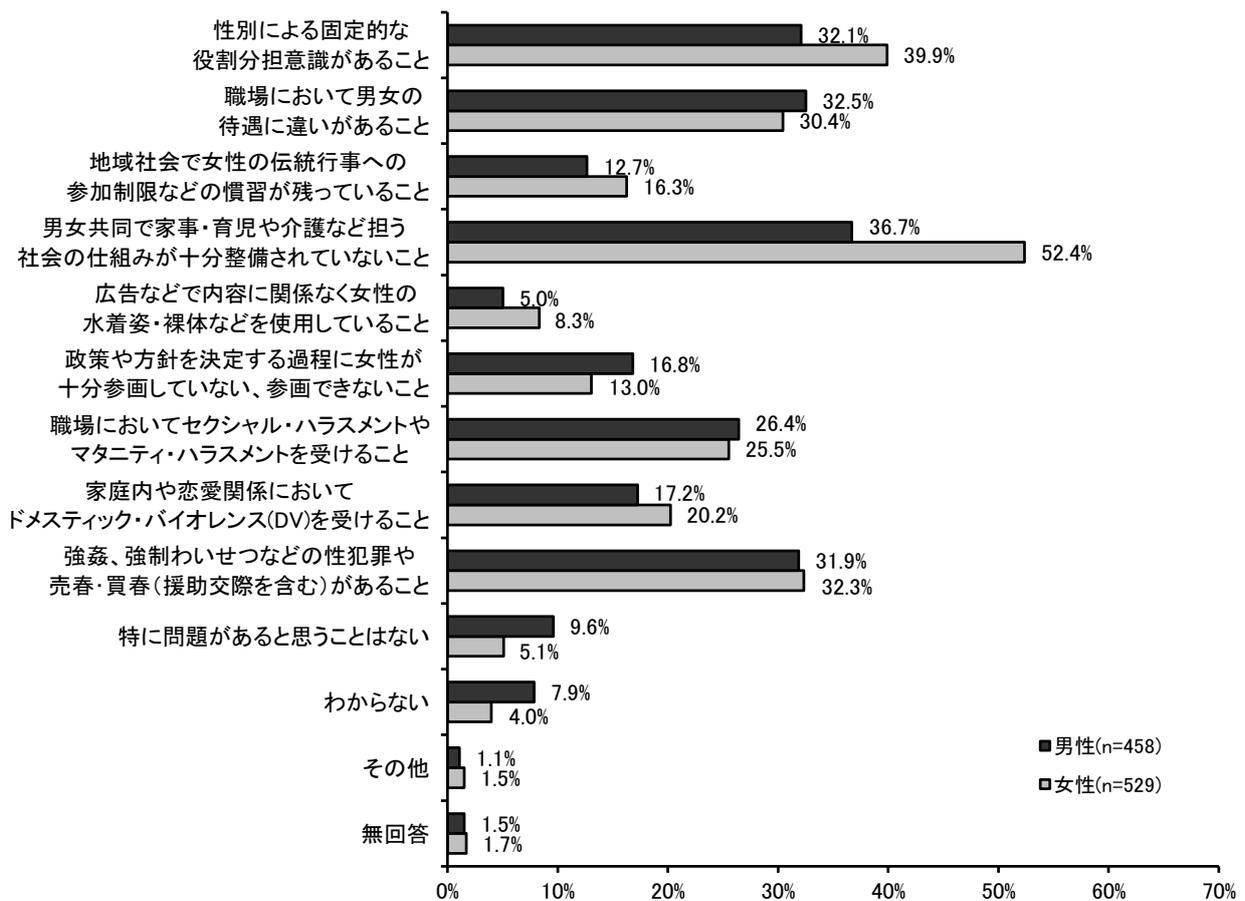
#### 【前回・前々回比較】

■「職場においてセクシャル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントを受けること」は前回の14.8%より10.6ポイント増加している。

■「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」は前々回の56.3%より11.3ポイント減少している。

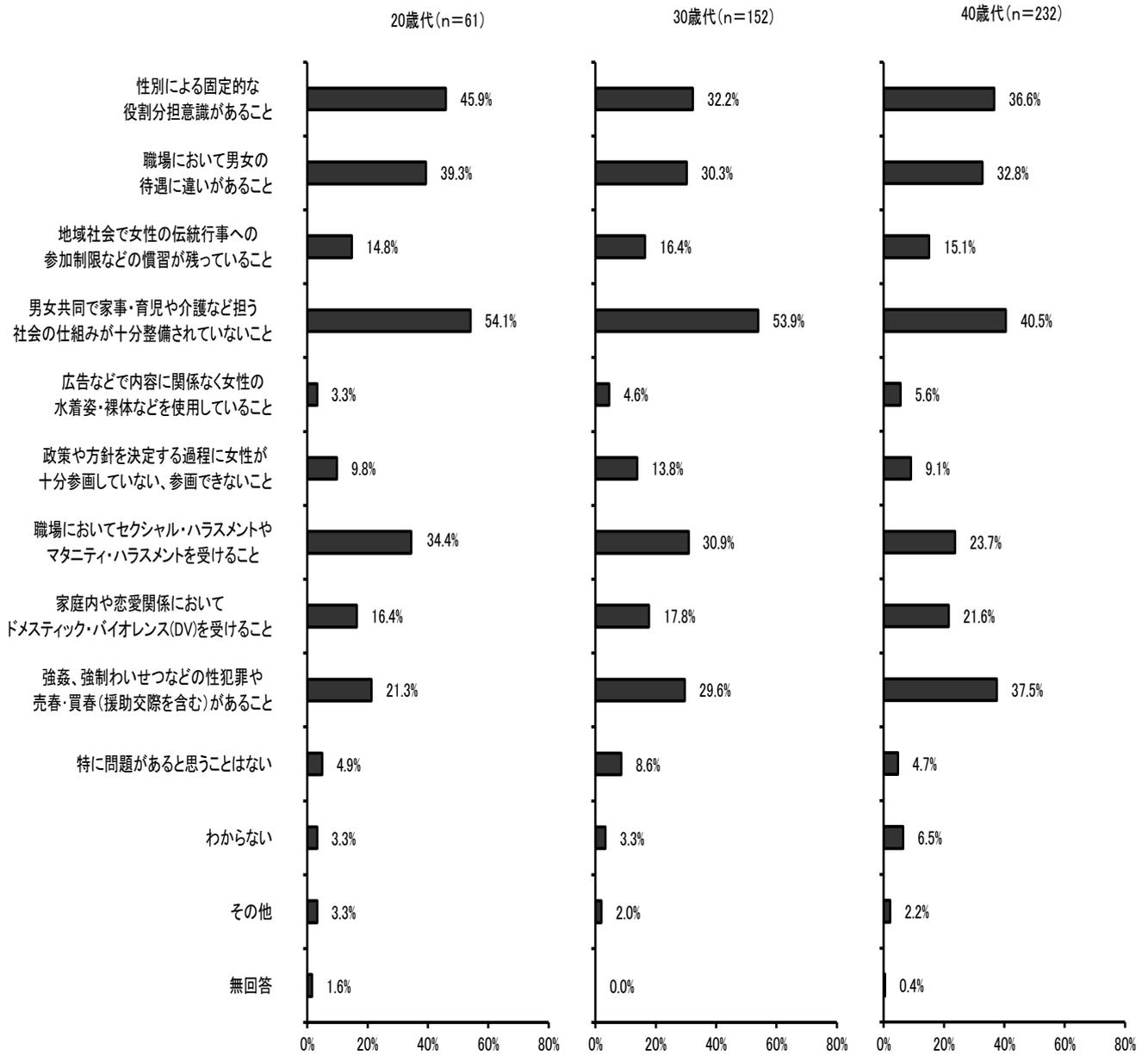
※「強姦、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際を含む)があること」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

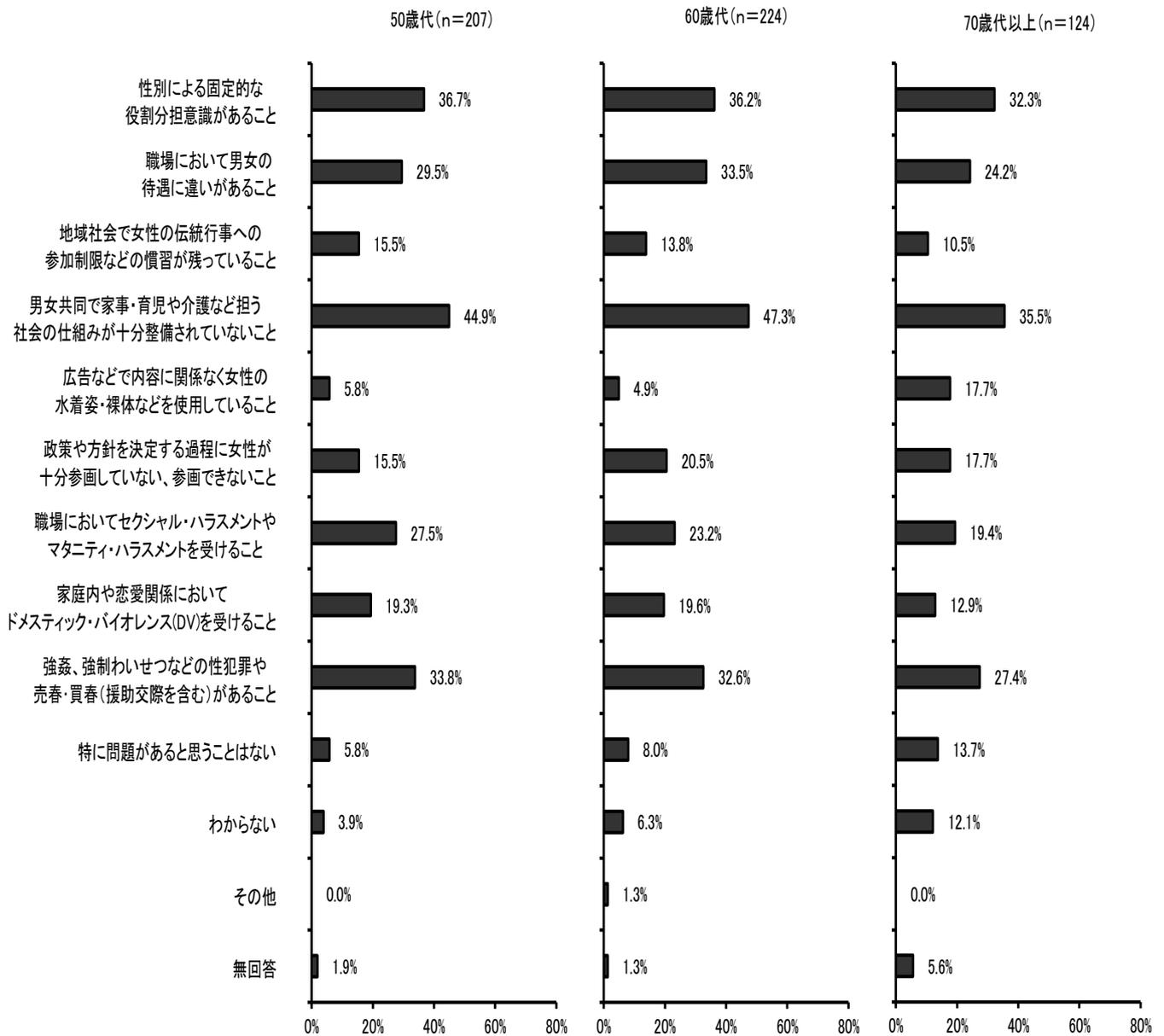
男女別



- 男女共に「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」の割合が最も高く、女性は5割を超えている。次いで「性別による固定的な役割分担意識があること」となっている。
- 「特に問題があると思うことはない」の割合は、男性がやや高い。

# 年代別

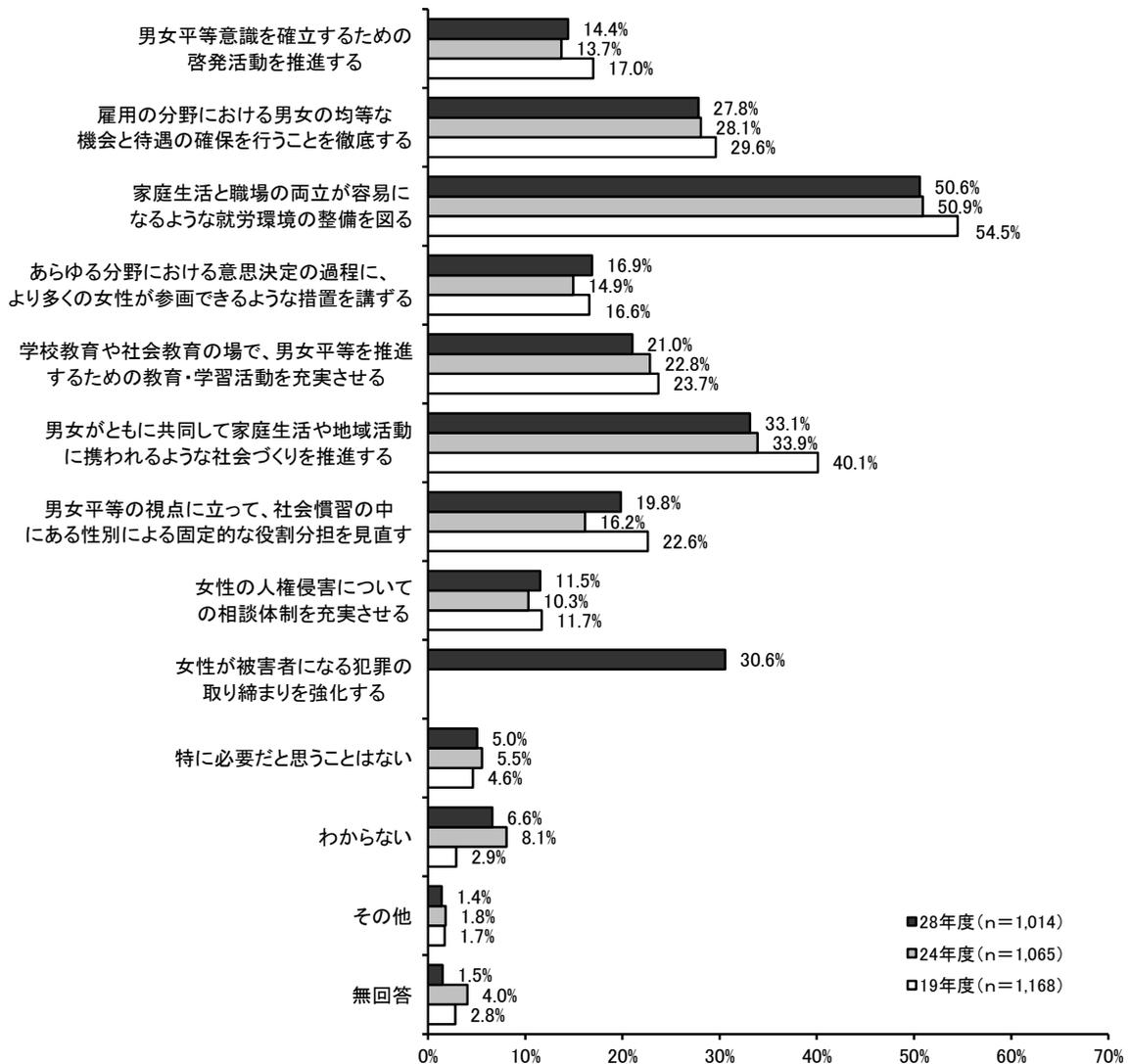




■「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられ、中でも20歳代が54.1%と最も高くなっている。

## (2) 女性の人権を尊重していくために必要なこと

問7 女性の人権を尊重していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。



■「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が50.6%で最も高く、次いで「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が33.1%、「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が30.6%の順となっている。

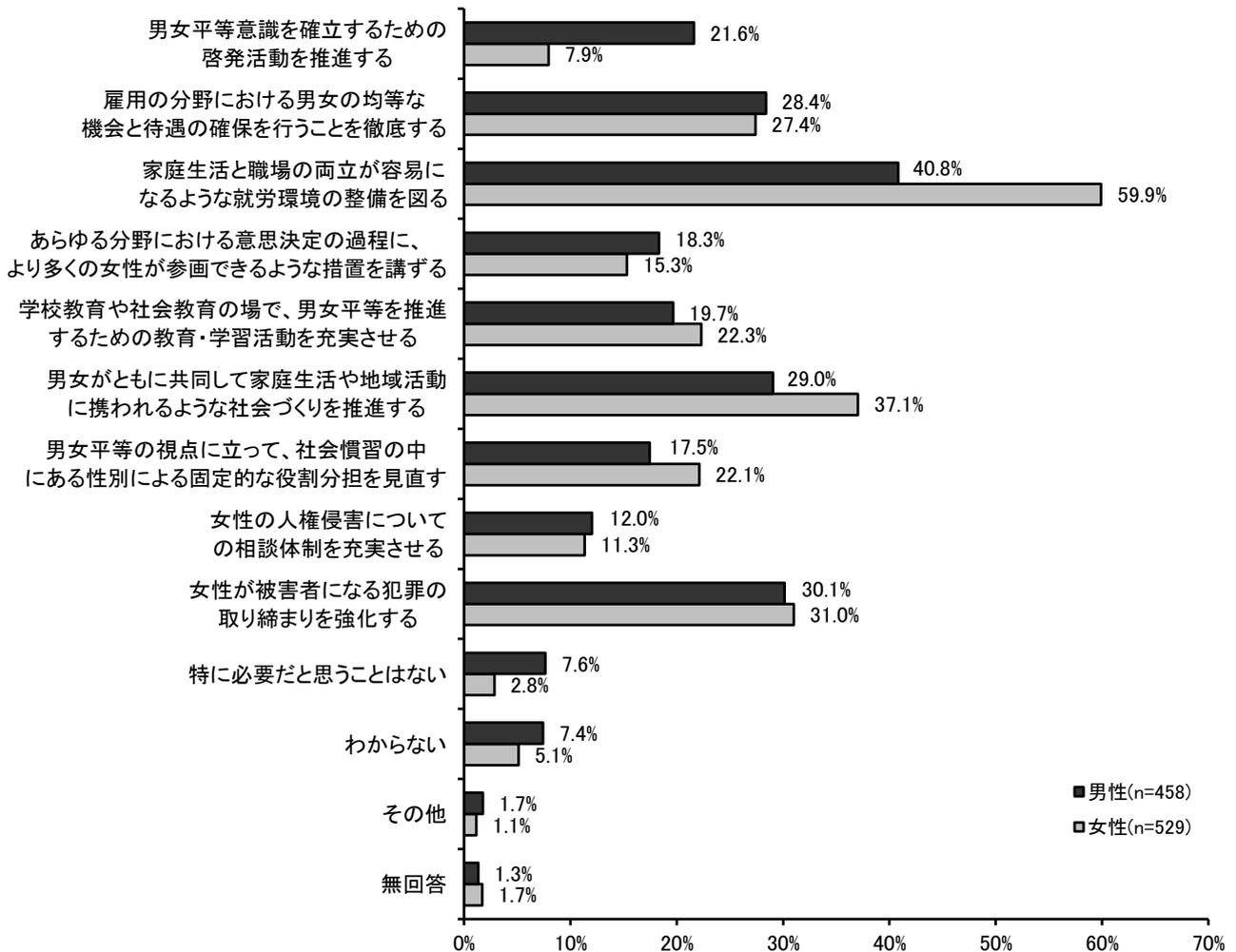
### 【前回・前々回比較】

■「男女平等の視点に立って、社会慣習の中にある性別による固定的な役割分担を見直す」が前回の19.8%より、3.6ポイント増加している。

■「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」は前々回より7.0ポイント減少している。

※「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

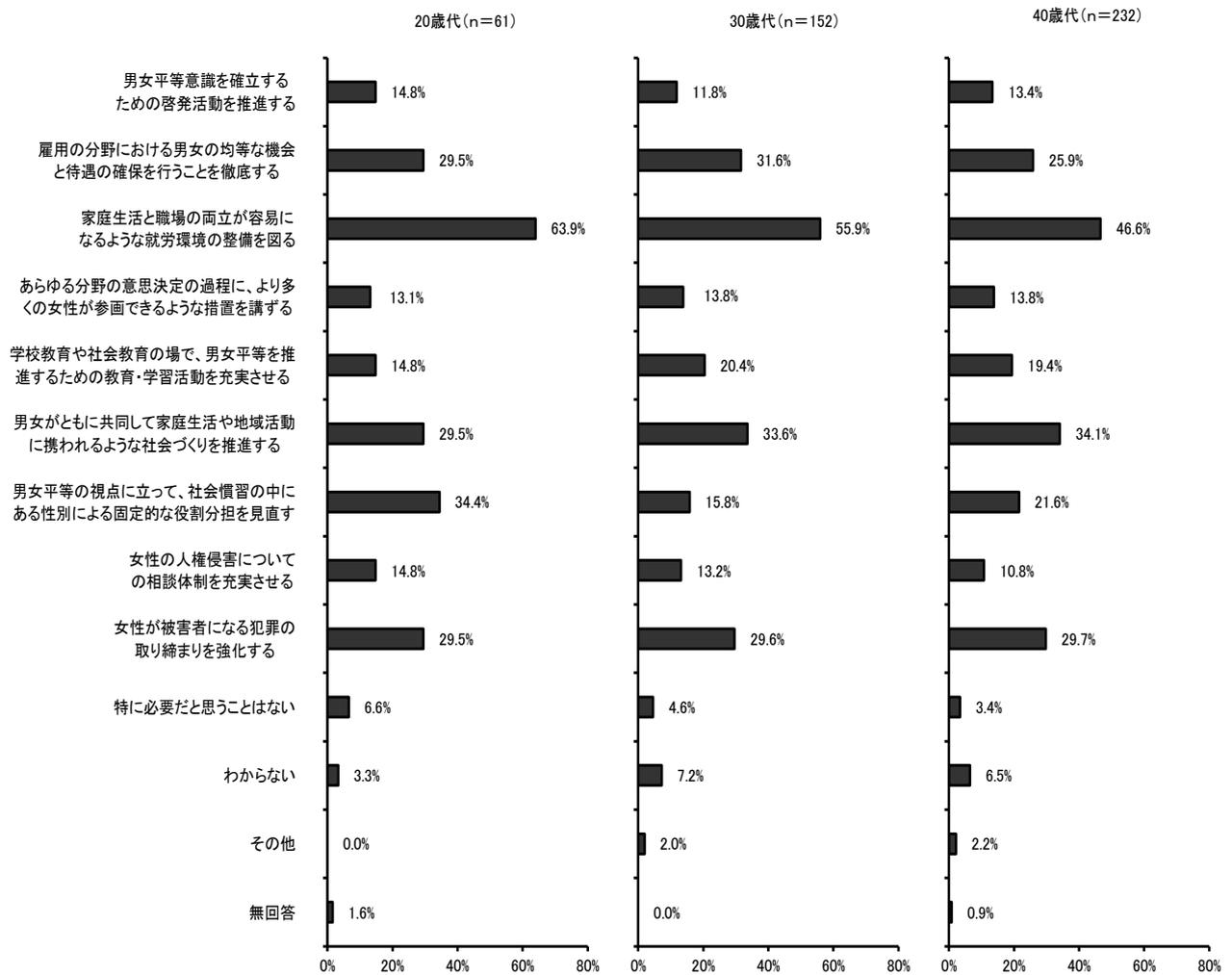
## 男女別

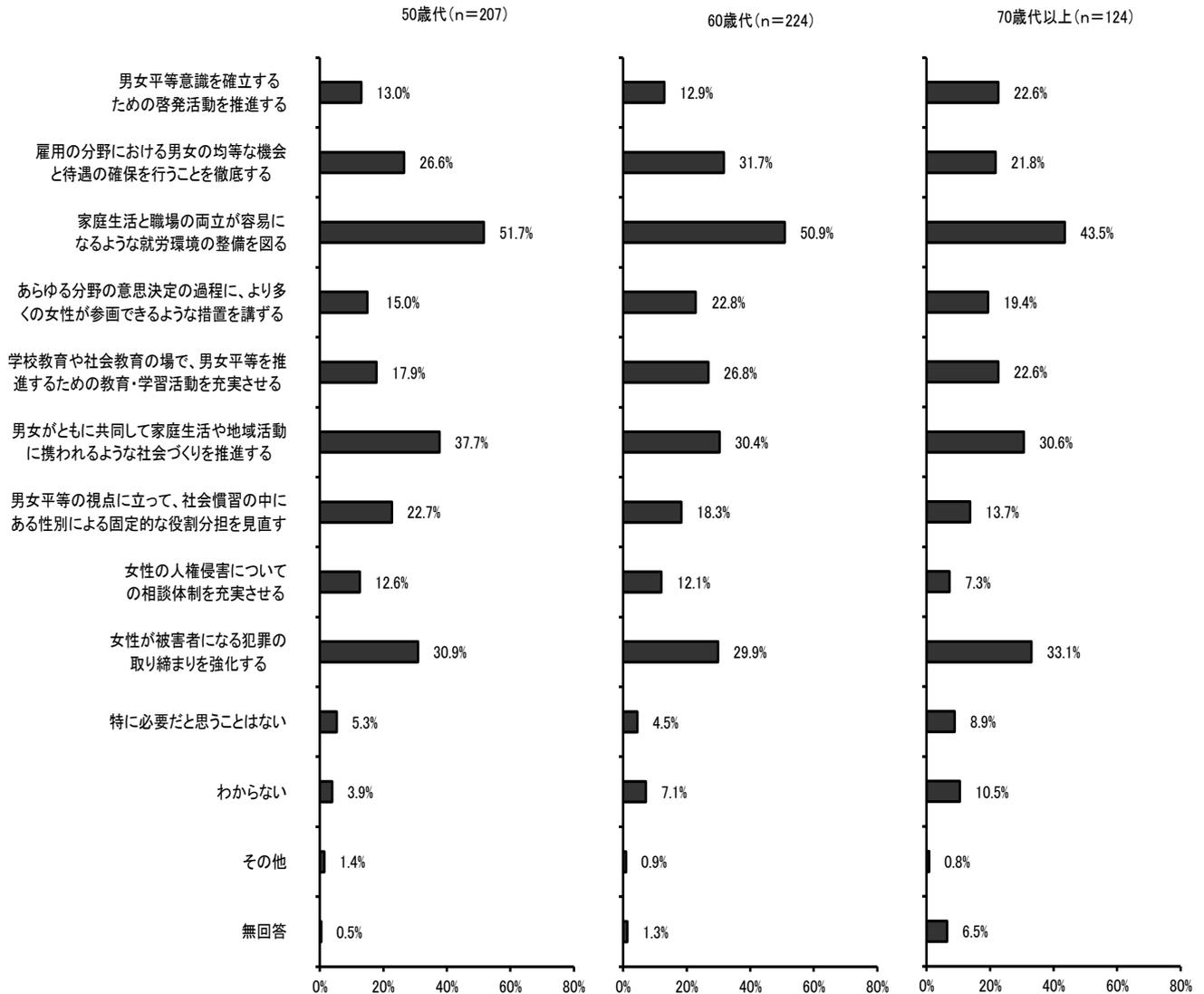


■男女共に「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」の割合が最も高く、女性は約6割となっている。次いで男性は「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化」が30.1%、女性は「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が37.1%となっている。

■「男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する」の割合は、男性が21.6%と女性より13.7ポイント高くなっている。

# 年代別





■ いずれの年代においても「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」の割合が最も高くなっている。

■ 「男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。